



社会教育指導者研修

世界とわたしたち

～SDGsを通して考える～

JICA山梨デスク
穂坂 ちひろ



開発途上国はいくつある？

世界の国の数（日本含む）
カ国

開発途上国の数
カ国



開発途上国ってどんな国？

安心して飲める水がない

子どもが勉強させてもらえない

病気で亡くなる人が多い

紛争が続いて安全な生活ができない

.....

など、日本での当たり前が当たり前ではない国



政府開発援助

ODA (Official Development Assistance)



独立行政法人 国際協力機構

JICA

Japan International Cooperation Agency

日本政府の**開発途上国**に対する**援助**を
実際におこなう機関



世界の人口は、何人でしょう？

- ① 約74億人
- ② 約64億人
- ③ 約54億人



1950年（約70年前）の世界の人口は何人だったでしょう？

- ① 約25億人
- ② 約55億人
- ③ 約75億人



2050年後（約30年後）に
世界の人口は何人になるでしょう？

- ① 約73億人
- ② 約83億人
- ③ 約93億人



世界の人口が増えていくと
どんなことが起こる？

が増える。

が減る。

が足りなくなる。

その他なんでも



自分たちの生活から考える
例 1

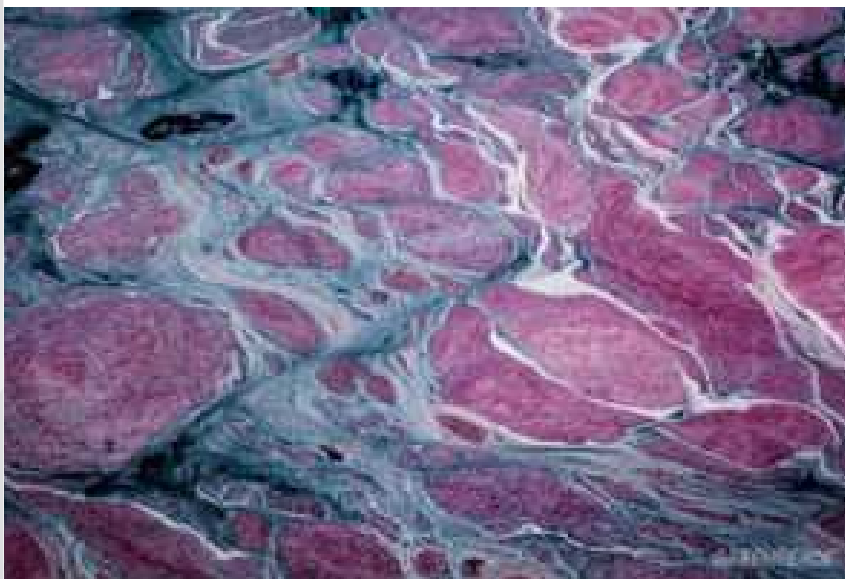




大量の衣料品廃棄物



インドネシア・チタラム川の有害化学物質 (上流の工場68%が繊維工場)



自分たちの生活から考える
例 2

少年がある物の材料・原料を探しています



①指輪(ゆびわ) ②ゲーム機 ③コイン



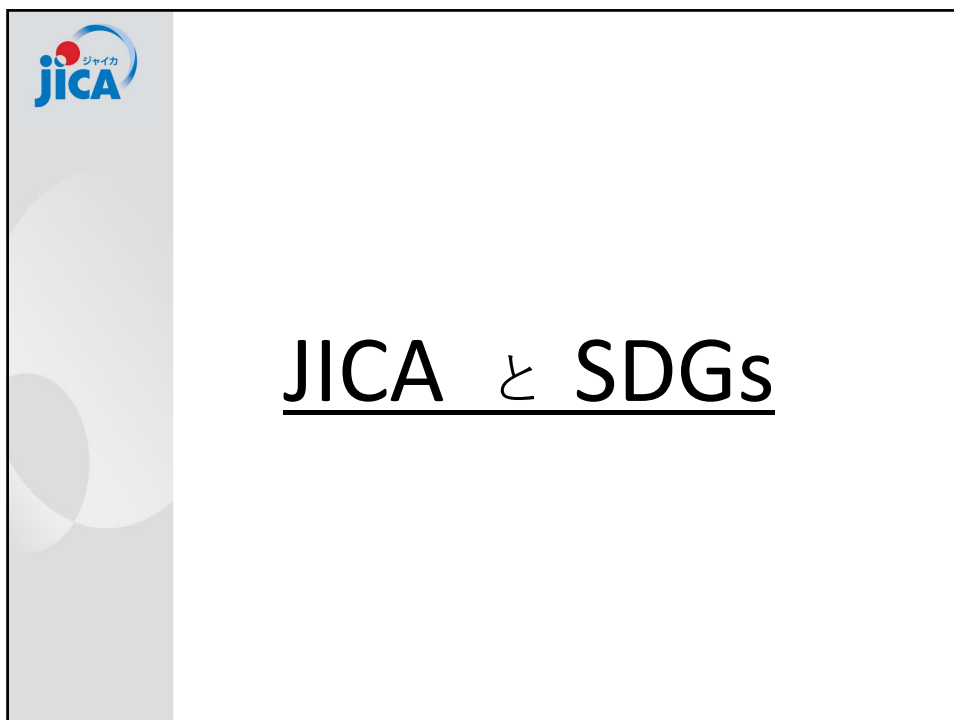
武装勢力の資金源になり、
紛争が長引く要因になっている可能性



世界を変えるための17の目標



それぞれの目標は関わりあっている



**JICAは10のゴールで中心的役割を果たし
より上位の究極的ゴール達成に貢献**

The infographic displays the 17 Sustainable Development Goals (SDGs) as small colored squares with icons and Japanese text. A large blue circle highlights the following 10 goals: 1 (No Poverty), 2 (Zero Hunger), 3 (Good Health and Well-being), 4 (Quality Education), 5 (Gender Equality), 6 (Clean Water and Sanitation), 7 (Affordable and Clean Energy), 8 (Decent Work and Economic Growth), 9 (Industry, Innovation and Infrastructure), and 10 (Reduced Inequalities). A large blue arrow points upwards from the circle towards goal 16 (Peace, Justice and Strong Institutions).

作成：JICA

20

アフリカは栄養改善が依然として課題

2 飢餓をゼロに



【ガーナ】

味の素（株）栄養改善食品
「KOKO Plus」を開発
(JICA-BOPビジネス連携促進)



- ガーナの伝統的な離乳食「koko」（発酵コーンで作るお粥）とエネルギーやタンパク質など乳幼児に必要な栄養価を混ぜ合わせたサプリメント
- 味の素「ガーナ栄養改善プロジェクト」
<http://www.ainomoto.com/jp/activity/csr/ghana/>



3 すべての人に健康と福祉を

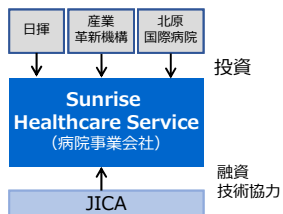


カンボジアでは生活習慣病や交通事故が増加


脳卒中などの生活習慣病がアジア地域で増加中。
バイク等の増加で交通事故も深刻な問題。



日本の民間セクターとの連携により、カンボジア・プノンペンに、救急医療センターを併設した民間病院を設立、JICAは運営を支援。



4 質の高い教育を
みんなに




バングラデシュですべての人に教育を

SDGsゴール4
すべての人に包摂的かつ公正な教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

入学はできるが
卒業までは至らない児童が多い

↓

「誰もとり残さない」
質の高い教育が必要



公公式

個人に応じた学習による
質の高い基礎協力を現地に導入

Drisa KUMON D 81

২ অঙ্কের সংখ্যা দ্বারা ভাগ ১

ক্রম	A	B	C	D	নাম
১	১০	২০	৩০	৪০	কৃষি / /
২	১০	২০	৩০	৪০	বয়স : মেস :

◆ ভাগ করো।

(১) (৫)

১১) ৪৫ () R ৩ ১১) ৬৫ () R ()

৪১) ৪১ () R ৩ ৪১) ৬৫ () R ()

৩১) ৪১ () R ৩ ৩১) ৬৫ () R ()

৩১) ৪১ () R ৩ ৩১) ৬৫ () R ()

BOPビジネス連携促進
「NGOとの連携による教育の質向上事業準備調査」

8 働きがいの
経済成長も



ザンビアで雇用の機会を促進し、 経済成長を助ける

良い原石はあるが、加工技術を持った職人がいない。
また宝石の価値が分からず、諸外国に安く買い叩かれてしまう。

↓

山梨の宝石加工技術を伝え、職人を育て雇用を促進。
また観光産業を基盤とした半貴石販売ノウハウを伝える。



㈱甲斐水晶工芸



価値が分からず放置されている宝石



さらにそれを小学生に



JICAは17の課題の達成に関わっています



世界のことを考えつつ、
自分たちの地球について考える



北杜市立須玉小学校での事例

第195回山梨県探検に学ぶ会 須玉小学校「トイレピカピカ大作戦」

私は、トイレピカピカ大作戦は、SDGs 3・4・6・11・16に関わることだと思えます。

なぜトイレ掃除か
 ①謙虚な人になれる ②気づく人になれる ③感動の心を育む
 ④感謝の心が芽生える ⑤心を癒す

本日は、お忙しい中
 御参加と御奉仕を頂き感謝申し上げます

須玉小学校の子どもたちによる、世界の子どもたちのためのSDGs
 英語・対話・SDGsを取り入れた「学び」が、須玉小学校の目標「生きる力が育む子どもの育成」につながる

各学年の代表的なSDGs活動

学年	SDGsの目標	教科	内容	期間
1	3	生活科	校内のピクトグラフ・地域の公園・甲府市の動物園での活動を通して、自然や生き物と親しむ。	5月～10月
	4	生活科	タブレットの使い方を学び、取材の仕方や記録の仕方を習得。実験としてプログラミング学習にチャレンジ。	5月と10月
	11	道徳	命が人の友達に寄り添い、自分たちにできることを実践した。「1人1つ命を大切に」の取組あり。	11月～12月
2	3	生活科	野菜作りと、食の安全での野菜販売を通して働くことの素晴らしさと大変さを学ぶ。	5月～11月
	9	国工生活科	ざりざりを織いたり、ざりざり作りをする。	9月～10月
3	9	生活科	2年生が主催する際に1年生を招待する。学校探検や運動会のソーラン節を1年生と取り組む。	5月と9月
	2	国語	大豆の栽培と、大豆を使った豆腐、きなこ・味噌・醤油・漬物作り等の実践と学習をする。	5月～11月
	9	国語	ワールド・カフェスタイルの学習を取り入れて「海の豊かさを守る」ことについて対話する。	11月
4	9	社会	スーパーとコンビニの見学を通して、お店の工夫や消費者の願いを学ぶ。	10月～11月
	11	総合的な学習	地域の歴史・文化・歴史を学習したり、地域の人から講話を聞いて学ぶ。	5月～10月
5	9	総合的な学習	単科や体験や福祉講座を通して、自分にできるボランティア活動を考える。生命誕生について親子で学ぶ。	6月と2月
	9	社会	地域のゴミ処理や再利用や再資源化について学ぶ。地域の特色や地産地消について調べ。	5月～10月
6	9	国語	高校生・大学生・文学部生を招いて期間について意見交換を行う。えんたくん・環境ゼミットの実施。	5月～11月
	9	社会	八ヶ岳カンファアに即席ブースを出して環境カレンダーの販売と募金活動を行う。	8月～10月
	9	総合的な学習	郷伴を地域の方と連携して取り組む。学習発表会で販促を販売する。	3月～10月
7	9	道徳	ノーベル平和賞を受賞したファンガリ・マータイさんの活動を地域の児童問題について考える。	5月
	9	体育	フットボールコートを取り組み、アメフトの普及に協力したボールウォッシュを学ぶ。	10月～11月
	9	体育	運動会に、SDGsの視点を取り入れた団体戦を行う。	8月と9月
8	9	総合的な学習	八ヶ岳カンファアにブースを出して募金活動と同様に繋がる。	8月～10月
	9	総合的な学習	JICAと連携してSDGsの説明や、高齢者や障がい者の国際貢献の話を聞く。	5月～10月
9	理科	専門知識に基づかない、未来のエネルギーについて理科学習の発展として考える。	11月～12月	

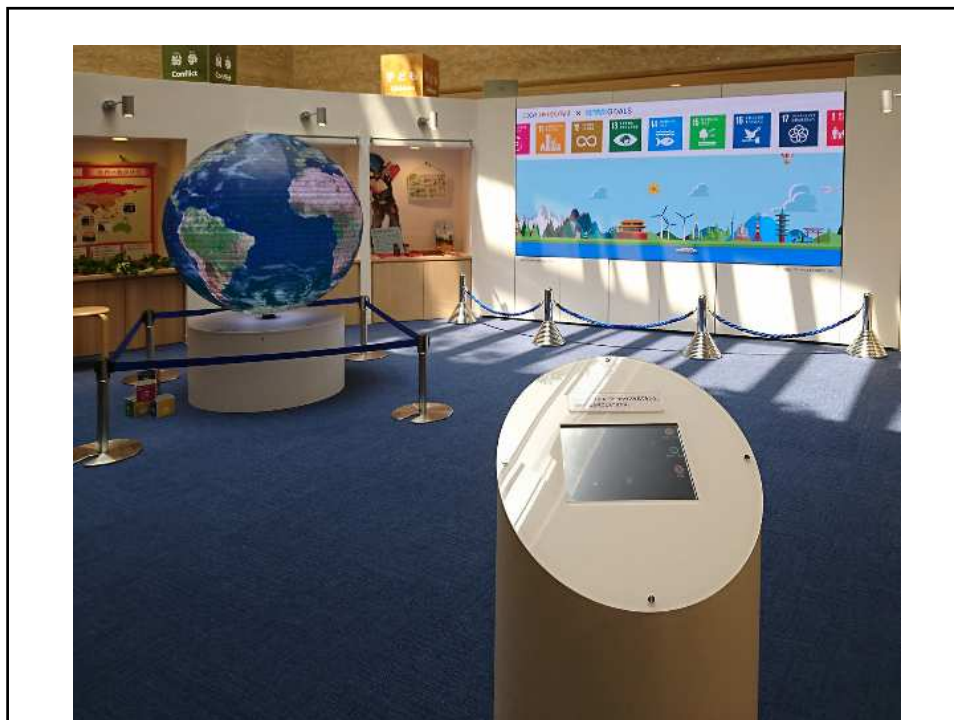




北杜市立長坂小学校での事例

年間を通したSGDsへの取り組み


- 1.修学旅行事前学習としての出前講座（JICA山梨デスク）
- 2.SDG s について自分たちができることを考える（担任主体）
- 3.修学旅行で地球ひろばを訪問
- 4.修学旅行事後学習（担任主体）
- 5.地元に住むOV（ヨルダン・写真）による出前講座
- 6.講師（上記OV）の写真展訪問と写真展での出前講座
- 7.ヨルダンにある難民キャンプの子どもたちとアート作品交換を通じた交流授業、隊員とのスカイプ交流（上記OVと派遣中ボランティア主体）
- 8.地元のイベント（カンティフェア）で、難民のための募金活動とこれまでの学習の報告（発表会）を実施。JICA山梨デスクブースと隣接させ、協働。
- 9.全校集会で6年生がこれまでの学習の発表会を行う。







山梨YMCAで
「世界がもし100人の村だったら」
ワークショップ



2030年（約10年後）は、 どんな社会になっていてほしい？

- ・ 自分の住む地域が～
- ・ 子どもたちが学ぶ場所が～
- ・ 自分の働く場所が～

など

	まずしい人をなくそう		どの人も、どの国も、みんな同じ
	食べられなくてえいようが足りない人をゼロに		だれにとっても安全で住みやすいまちづくりを
	みんながけんこうで安心してらせるように		むだにしない、作りすぎない、食べ物もしげんも。
	みんながよい教育を受け、学習できるように		変わりやすい天気や、それによるひがなくなるようにできること
	男の人も女の人も大人も子どももみんな同じ		海の生き物を守ろう
	みんながきれいな水やトイレを使えるように		森林や陸の生き物を守ろう
	安くいつでも使えるエネルギーをみんなに		平和で、みんながおなじようにらせる社会を
	みんながやりがいのある仕事をできるように けいざいも成長していくように		これらの目標に向かってみんなで力を合わせよう
	さいがいがあっても大じょうぶな水盤・ガス・電気・交通などをつくり、 社会がとんどん元気になるように		

SDGs
～わたしたちが目指す世界～2030年までの17の目標～

